

乳製品需給等情報交換会議（概要）

日時：平成30年5月25日（金） 13:30～14:40

場所：（独）農畜産業振興機構 北館6階会議室

主な意見：

（ホクレン）

北海道の生乳生産は、順調に推移している。また、1頭あたり乳量は、前年と比べて2%ほど上昇しており、今年も品質の良い草が収穫できれば1頭あたりの乳量は継続して上昇するのではないか。

（東宗谷農業協同組合）

北海道の気温は低めであるが天候は安定している。1頭あたりの乳量も上昇している。草地更新も進み、地力が上がっている。

（全国消費者団体連絡会）

バター、脱脂粉乳の輸入が安定していると聞いて安心した。夏の暑さで生乳生産量が減らないことを願う。

（中央酪農会議）

指定団体の用途別販売実績は、1～4月の受託実績が連続100%を超えている。後継牛の確保事業、性判別精液を引き続き活用していく。また、各地域毎に生産基盤強化計画を策定し、生産基盤の強化を図っていく。

（卸売業者）

家庭用バターについては、十分供給できている。

（日本洋菓子協会連合会、全国菓子工業組合連合会、全日本洋菓子工業会）

バター供給は安定しており、秋口の出回りは心配していない。

（日本パン工業会）

全体としてはバターの供給は問題ない。

（Jミルク）

我々が発信する需給見通しの大切さを痛感しているため、今後も、更に精度を高めて、的確に発信していきたい。

（日本乳業協会）

会員からは、バター・脱脂粉乳の需給は落ち着いている、在庫は十分にあると聞いている。バター・脱脂粉乳の入札が定期的に行われ、放出されていることには良い評価を得ている。これからも需給の安定に努めたい。

（以 上）